

思いやり

広島県 光福寺 徒弟 山内悠嗣

先日 ショッピングモールの入りで、ボーイスカウトの団体が赤い羽根共同募金を行っていました。私も小学生の頃にボーイスカウトの活動をしており、街頭で募金活動をしたこともあったので懐かしさを感じ募金に協力しました。

募金箱にお金を入れると、箱を持っていた子はもちろん、周りの子達も「ご協力ありがとうございます」と大きな声でお礼を言い、赤い羽根のシールを渡してくれました。大した額は入れていないので少し恐縮しましたが、とても温かい気持ちになりました。「ありがとうございます」という言葉をもらうのはうれしいものです。

ボーイスカウトの子達は、自分たちが集めた募金がほかの人たちの役に立つようと、一生懸命声を張り上げ買い物客たちに協力を呼び掛けていました。

仏教では、他の人を思いやり、他の人の幸福を願う「利他」の教えを大切にしています。今回の募金活動を見て、まさに「利他」の教えが強く思い起こされました。人々の慈しみの思いのつまったお金をお

預かりし、寄付するという行いに。また募金をして下さる方は「頑張っているね」と温かい言葉をかけ、募金を預かる子達は「ご協力ありがとうございます」と感謝の思いを相手に伝えます。互いが互いに思いやりのある言葉をかけあう姿に、そして相手の困難や苦勞に寄り添い「思いやり」をもち、自分に出来ることをする子達の姿に、他を利する「利他」の教えを感じ感銘を受けました。

私がボーイスカウトをしていた頃は、そこまで深く考えて募金活動をしていませんでしたが、募金活動にはこういった素晴らしい思いやりがあふれているのだと感じました。

赤い羽根共同募金は、地域の福祉の推進のために活用される募金ですが、他にも、被災地への義援金や、ユニセフなど、いろいろな形で募金が行われています。皆さんも街角で募金活動をされている方を見かけたら、ぜひ協力してみてはいかがでしょうか。きっと温かい気持ちになることでしょう。